

## 地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合せ先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

### 大阪府泉州救命救急センター

副所長 中尾彰太



みなさんはドクターカーが走っているのを見たことはありますか？大阪府泉州救命救急センターは、泉佐野市を含む泉州地域を対象に、ドクターカーによる病院前診療を展開し、主に重症のけがの患者さんの治療をおこなっています。具体的には、消防に通報が入った際に、通報内容から重症と判断されると、救急車の出動とは別に、当センターから医師と看護師を乗せたドクターカーが出動して現場に急行し、救急隊と協働して治療を開始しながら患者さんを病院に搬送します。

「ドクターカー出動の利点のキーワードは、「時間短縮」です」

●医師と看護師による早期治療開始  
重症のけがの場合、病院到着までの短時間で心停止に至る危険があります。医師と看護師がより早く治療を開始することで、危機的状態からの早期脱却をめざします。

●病院到着後の治療開始までの時間短縮  
医師が患者さんの病状を現場から病院に連絡することで、患者さんの病院到着前から手術などの治療の準備をおこない、病院での治療開始を早めることができます。

当センターは、重症外傷の治療において、全国トップクラスの成績を維持しており、ドクターカー出動による「時間短縮」は、患者さんの救命のための重要な要素となっています。出動の際には市民のみなさんにご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



### 臨床工学科

技術科長代理 中西潤



当院では、現在17人の臨床工学科士が勤務しています。院内で「CEI (Clinical Engineering)」の名称で活動し、主に医療機器を操作、管理またはメンテナンスなどを行う医療技術者です。また、診療を支える診療支援部門に所属し、院内に設置したさまざまな医療機器などを通じて患者さんと接し、縁の下力持ちとして医療に尽力しています。具体的な業務内容は、腎臓機能が低下した人を実施する人工透析業務や、心臓機能の低下した人への内科的治療である心臓カテーテルおよびペースメーカー業務、外科的治療である開心術時の人工心肺業務、肺機能低下に伴う呼吸機能をサポートする呼吸療法業務など、いわゆる人の命に直結した機器を扱う「いのちのエンジニア」としての役割を担っています。また当院の特色である救命救急医療や災害医療など1分1秒を争う現場においても臨床工学科士は時には医療の最前線に立つ役割として密接に関与し活動しています。

現代の医療を取り巻く環境においては、医師、看護師だけでなく、高度で多様化する医療に対応するため、私達を含め、多職種によるチーム医療を形成し実践することが患者さんに対し益をもたらす活動ができるものと考えています。

臨床工学科士が国家資格として誕生し今年で30年が経過しました。他の医療職種と比較してまだまだ歴史の浅い職種であります。しかしながら、医療機器を含め今日の医療は日進月歩で変化し臨床工学科士に求められるニーズは拡大途上にあります。私達は医療の分野で常に輝き続ける存在でありたいと考えています。今後も患者さんにより質の高い医療が提供できるよう、スタッフ一同努力していきたいと思えます。